

秘 書 課

○ 表彰関係

市の発展又は公共の福祉の増進に貢献した方、広く市民の模範となる行為をした方を伊勢市表彰条例に基づき第16回の表彰を次のとおり行った。

1 伊勢市民功労賞

- ・多年監査委員として各種監査等の適正かつ円滑な執行に貢献された（1名）
- ・多年総連合自治会役員として地域社会の発展のために尽力された（1名）
- ・多年学校歯科医として児童生徒の口腔衛生管理に尽力された（2名）
- ・多年農業委員会委員として地域農業の発展および農業経営の向上に寄与された（2名）
- ・多年消防団活動に献身奉仕され郷土防災と消防行政推進に寄与された（2名）
- ・学生・生徒の修学支援のために多額の御寄附をされた（1名）
- ・公益のために多額の御寄附をされた（2名）
- ・地域のつながりの再生のために多額の御寄附をされた（1名）
- ・感染症予防対策のために多額の御寄附をされた（2団体）
- ・地域医療の充実のために多額の御寄附をされた（2団体）
- ・観光振興のために多額の御寄附をされた（1団体）

2 伊勢市民文化賞

- ・第33回全国高等学校情報処理競技大会で優秀な成績を収めた（1団体）

3 伊勢市民スポーツ賞

- ・全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会で優秀な成績を収めた（1名）
- ・第49回全日本実業団ハーフマラソン大会で優秀な成績を収めた（1名）

4 表彰式

- ・日時 令和3年11月3日（水・祝） 10時30分～
- ・会場 伊勢市立小俣図書館 2階ホール

○ 栄典に係る推薦事務

憲法第7条第7号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・従六位 元町議会議員（地方自治功労）

○ 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の伸展と興隆繁栄に寄与するため、全国市長会、東海市長会及び三重県市長会に加盟している。

令和3年度については、全国市長会通常総会は役員のみで開催となり、東海市長会第132回

通常総会・第133回通常総会は書面での表決となった。また、三重県市長会は定例会議へ出席した。

1 全国市長会

開催年月日	会議名(主な議題)
3. 6. 9 (役員のみで Web会議)	第91回全国市長会議通常総会 ① 会務報告 ② 令和元年度全国市長会決算報告について ③ 令和3年度全国市長会予算承認について ④ 各支部提出議案審議について ⑤ 決議案審議 ⑥ 役員改選

2 東海市長会

開催年月日	会議名(主な議題)
3. 5. 12 (書面表決)	第132回東海市長会通常総会 ① 令和2年度東海市長会会務報告について ② 令和2年度東海市長会歳入歳出決算の認定について ③ 令和3年度東海市長会歳入歳出予算について ④ 提出議案の審議 ⑤ 決議案の審議 ⑥ 役員改選
3. 10. 15 (書面表決)	第133回東海市長会通常総会 ① 提出議案の審議 ② 決議案の審議 ③ 分担金の徴収停止

3 三重県市長会

開催年月日	会議名(主な議題)	開催地
3. 5. 10	三重県市長会5月定例会議 ① 令和3年度三重県市長会役員等の選任について ② 東海市長会三重県市長会提出議案等について ③ 会務報告について	津市
3. 7. 30	三重県市長会7月定例会議 ① 令和2年度三重県市長会歳入歳出決算について ② 令和2年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について ③ 三重県市町総合事務組合議員の選出について ④ 令和4年度に向けた三重県への要望について ⑤ 第133回東海市長会通常総会要望について ⑥ 各団体からの市長会への要望等について ⑦ 市長会の会務報告について ⑧ 第133回東海市長会通常総会等の開催について	津市

<p>3. 10. 29</p>	<p>三重県市長会10月定例会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度三重県市長会歳入歳出予算について ② 令和4年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出予算について ③ 各団体からの市長会への要望等について ④ 市長会の会務報告について ⑤ 第134回東海市長会通常総会等の開催について ⑥ 環境省との意見交換会等について 	<p>津 市</p>
<p>4. 1. 31</p>	<p>三重県市長会1月定例会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 三重県軽自動車税等事務共同処理協議会業務委託契約について ② 令和4年度三重県市長会役員等の選任について ③ 第134回東海市長会提出議案の取扱いについて ④ 東海市長会通常総会等の開催方法について ⑤ 市長会の会務報告について ⑥ 各団体からの市長会への要望等について ⑦ 環境省との意見交換会の開催について ⑧ 全国市長会会長立候補者の支部推薦について 	<p>津 市</p>

デ ジ タ ル 政 策 課

○ デジタル活用推進関係

1 市民サービスの向上

(1) 行政手続きのオンライン化の推進

各種申請手続きや申込みのオンライン化を推進するため、電子申請システムを導入した。
また、令和4年2月1日から、本システムを利用して、12種類の行政手続きのオンライン申請受付を開始した。

・伊勢市電子申請システムサービス利用

契約先 株式会社グラファー

利用期間 令和3年12月1日～令和6年11月30日（長期継続契約）

支出額 1,672,000円（令和3年度分）

(2) 伊勢市デジタル行政推進条例の制定

情報通信技術を活用した行政の推進を図るために、本市の条例や市の機関が定める規則等に基づく申請、届出その他の手続き等に関し、各行政手続きの個別条例・規則等の改正を行わずに、従来の書面に手続きに加えて、オンラインによる手続きが可能となる「伊勢市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」（通称：伊勢市デジタル行政推進条例）及び同条例施行規則を制定した。

・施行日 令和3年10月11日

(3) LINEを活用した行政サービスの推進

伊勢市LINE公式アカウントを機能的に活用し、市民サービスの向上に取り組んだ。

・GovTech Express サービス利用

サービス内容 LINEチャットボットシステム等のサービス利用権一式

契約先 株式会社 Bot Express

契約期間 令和2年4月1日～令和5年3月31日（長期継続契約）

支出額 2,237,400円（令和3年度分）

・LINE利用者数実績（令和4年3月31日現在） 友だち数：15,177人

・令和3年度に開始したLINEを活用したサービス（令和4年3月31日現在）

4月 障がい福祉案内チャットボット、混雑状況案内を開始

5月 新型コロナウイルス関連支援情報チャットボットを開始

2月 総合案内チャットボット、伊勢総合病院の案内チャットボット開始など大幅なリニューアルを実施

2 組織運営の効率化

(1) RPA の活用

RPA（定型的なパソコン操作をソフトウェアで自動化する仕組み）の活用について、職員がシナリオ作成から運用までを行い、5課16業務に適用し、業務の効率化を図った。

・RPA ソフトウェアライセンス購入

購入先 富士通 Japan 株式会社 三重支社
支出額 765,600 円

(2) AI-OCR の導入

AI-OCR（高精度に帳票を読み取りデータ化する技術）の活用について、令和3年度に本格導入を行い、5課6帳票で利用し、業務の効率化を図った。

・LGWAN-ASP 版 AI-OCR サービス利用

契約先 ナカシャクリエイテブ株式会社 三重営業所
利用期間 令和3年6月1日～令和4年5月31日（長期継続契約）
支出額 1,116,676 円（令和3年度分）

(3) チャットツールの検証

庁内での連絡や自治体間での情報共有について、令和2年度に無償トライアルでビジネスチャットツールの利用検証を行ったところ、一定の業務の効率化が図られたことから、令和3年度は、試験導入を行い、更に活用方法を検討した。

(4) Web 会議環境の整備

新型コロナウイルス感染症対策として Web 会議の環境の充実を図り、令和3年度は、市主催の Web 会議が 651 回開催された。また、複数の施設を会場とした会議や参加人数の多い会議など各課が実施する Web 会議の運営支援を行った。

(5) テレワーク環境の整備

新型コロナウイルス感染症対策のために、市のネットワークが利用できる施設における分散勤務用として、3施設でのネットワーク環境整備を行った。また、分散勤務実施期間中、分散勤務用施設での利用に対応するため、設定作業を行った。

さらに、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が実施している自治体テレワーク推進実証実験事業に参加し、在宅勤務実施のためのシステム環境整備を行った。また、在宅勤務実施職員のパソコン 164 台について、在宅勤務に対応するための設定作業を行った。

3 地域課題の解決

(1) スマートシティ伊勢推進協議会の設立

市が抱える地域課題の解決に向け、産官学民が連携してデジタル化に取り組む必要があることから、各分野を代表する市内7団体と連携協議会の設立に向けた準備会を経て、令和4年2月17日にオンラインにて設立総会を開催し、「スマートシティ伊勢推進協議会」を設立した。

・参画団体

伊勢商工会議所、伊勢小俣町商工会、公益社団法人伊勢市観光協会、伊勢農業協同組合、伊勢湾漁業協同組合、伊勢地区医師会、社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会

(2) デジタルデバイド対策

デジタルデバイド解消のため、事業者と連携して「総務省 令和3年度デジタル活用支援推進事業」の採択を受け、高齢者を対象としたスマートフォン教室を開催した。

・高齢者対象スマートフォン教室

対象者 まちづくり協議会等の関係者

開催期間 令和3年10月から令和4年2月

開催回数 14回（全42コマ）

参加人数 63人

(3) オープンデータの推進

行政の透明性・信頼性の向上、市民と行政の協働促進及び地域経済の活性化を目的として、市が保有するデータを二次利用可能なルールのもとで『伊勢市オープンデータライブラリ』で公開しており、令和3年度はデータの充実と利活用の推進に取り組んだ。

① 伊勢市オープンデータライブラリ

ア 新規登録データ項目 2項目

・混雑配信データ（観光振興課） 令和4年3月公開

・市民アンケートローデータ（企画調整課） 令和4年3月公開

イ 登録データ件数 40項目 1,329件（令和4年3月31日現在）

② 宇治山田商業高校情報処理科との連携

宇治山田商業高校情報処理科3年生25名が8グループに分かれ、広く自分たちで収集した情報とオープンデータを活用し、地域活性化について学び、地域課題の学習成果を市長に報告した。

・令和3年7月13日 担当部署と同校情報処理科3年生のグループワーク

・令和4年1月24日 市長への学習成果の報告会

4 デジタル化の推進

(1) 伊勢市デジタル行政推進ビジョンの策定（デジタル戦略の策定）

行政のデジタル化を推進する基本方針となる「伊勢市デジタル行政推進ビジョン」を令和3年10月に策定した。また、ビジョンを確実に効率的に実行していくため、令和4年度以降に実施する具体的な施策、スケジュール、成果指標などを示した「伊勢市デジタル行政推進ビジョン（アクションプラン編）」を令和4年3月に策定した。

・（仮称）伊勢市デジタル推進アクションプラン作成等業務委託

契約先 有限責任監査法人トーマツ 名古屋事務所

契約期間 令和3年7月27日～令和4年3月18日

支出額 5,995,000 円

(2) 伊勢市デジタル推進本部の設置（ワーキング等による検討）

全庁横断的にデジタル化を推進していくため、市長を本部長とした「伊勢市デジタル推進本部」を令和3年7月に設置した。また、デジタル化のテーマ別にワーキンググループを設置し、令和3年度は「伊勢市デジタル行政推進ビジョン（アクションプラン編）」で設定する目標の検討などを行った。

(3) 職員のデジタルリテラシーの向上

① 研修会の開催

デジタル政策課が実施する各種取組について理解を深め、今後の全庁的なデジタル化推進を図るため、研修会を開催した。

(ア) クライアント・サーバ管理運営委員研修

- ・日 時 令和3年7月15日（木）11時～12時
- ・参加者 サーバ管理運営委員、クライアント管理運営委員 67名
- ・内 容 Web会議、RPA・AI-OCR、テレワークシステム等の説明
- ・講 師 デジタル政策課

(イ) 行政デジタル化・DX推進啓発研修

- ・日 時 令和3年9月8日（水）10時～11時30分、14時～15時30分
- ・参加者 伊勢市デジタル推進本部ワーキンググループメンバー等 33名
- ・内 容 DX推進の啓発、DXで得られる効果、デジタルツール活用事例の紹介
- ・講 師 有限責任監査法人トーマツ マネジャー 西村 友一 氏
サイボウズ株式会社 ITストラテジスト 小島 雄一朗 氏
神戸市役所 西区総務部まちづくり課 藤原 慎之輔 氏

(ウ) デジタル推進員研修

- ・日 時 令和4年1月5日（火）10時～11時、14時～15時
- ・参加者 デジタル推進員 69名
- ・内 容 デジタル行政推進条例の説明、オンライン申請システムの紹介等
- ・講 師 デジタル政策課

(エ) DX推進研修

- ・日 時 令和4年1月6日（水）10時～11時30分、14時～15時30分
- ・参加者 所属長 71名
- ・内 容 自治体DX推進の意識啓発、先進事例の紹介
- ・講 師 三重県DXアドバイザー（元つくば市副市長） 毛塚 幹人 氏

② Webセミナー等への出席

DXやスマートシティ推進関連の最新の動向、コロナ禍におけるデジタル技術を活用した地方自治体の取組事例などの情報収集を目的として、Webセミナー等に参加した。

○ 情報システム関係

1 三重県電子自治体推進連絡協議会及び外部専門家支援事業への参加

県と市町が連携を深め、協働して情報化の推進を図ることを目的に設置されている、県電子自治体推進連絡協議会に参加し、県内の総合的な電子自治体の推進に向けて取り組んだ。

また、情報システム関連経費の適正化や調達方法の透明性・競争性を高めることを目的に、(公財)三重県市町村振興協会が実施している外部専門家による支援事業やケーススタディに参加し、情報化スキルの向上とともに市町間の情報共有を図った。

2 伊勢市システム管理・セキュリティ委員会の設置及び開催

前述のデジタル推進体制の整備の一環として、令和3年7月30日付で「伊勢市情報化推進委員会」を廃止し、「伊勢市システム管理・セキュリティ委員会」を新たに設置した。伊勢市システム管理・セキュリティ委員会では、情報システム及びネットワークシステムの整備・管理に関すること並びにサイバーセキュリティの確保に関することを所掌業務としている。

令和3年度は、伊勢市情報化推進委員会を5回、伊勢市システム管理・セキュリティ委員会を8回開催し、システム更新等における競争性の確保を基本に置きながら、各課業務の効率化やサービス向上、システムの安定稼働を念頭に適正な仕様内容を検討した。

3 システム導入・更新関連業務

(1) 行政情報（内部情報系）システム更新業務

行政事務の効率化や正確化等を図るため、行政情報システム（財務会計・文書管理・人事給与・庶務事務・グループウェア等）を利用しているが、令和2年度から3年度にかけて利用及び保守の期限を迎えることから、令和3年2月から、順次システムの更新を行い、令和3年度は、令和3年4月に財務会計、令和3年5月に文書管理、令和3年10月にグループウェアの利用を開始した。

・伊勢市行政情報（内部情報系）システムサービス利用調達

契約先	富士通 Japan 株式会社 三重支社
契約期間	令和2年9月4日～令和3年9月30日（債務負担行為）
支出額	73,178,600円（令和3年度分）

(2) ネットワーク等更新に関する情報提供依頼の実施

行政情報系及びインターネット系のネットワーク機器、ネットワークシステム及び強靱化対応システムの保守期限を令和5年3月末を迎えることから、情報提供依頼を実施し、仕様の調整を行った。令和4年度にプロポーザルによる業者選定を実施し、令和5年3月末までに機器及びシステムの更新を行う予定である。

(3) 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）への対応業務

社会保障・税番号制度対応にあたり、令和3年6月版のデータ標準レイアウトの変更に伴う、システム改修の対応を行った。

(4) 総合住民情報システムの契約更新等

総合住民情報システムについて、令和5年1月末で5年間の利用契約が満了となるため、令和2年度において、業務担当課職員で構成する検討ワーキングの開催、各システムベンダーへの情報提供依頼（RFI）、国の情報システム標準化の方針の情報収集を経て、クラウド化した現行システムを継続利用する更新方法を決定し、令和3年12月6日付で伊勢市総合住民情報システム環境構築等業務委託を締結した。また、更新用パソコン310台の物品調達契約を令和4年2月21日に締結した。

今後は、令和5年1月の新環境での本稼働に向けた準備を進めるとともに、将来的なシステム標準化への対応方針についても、引き続き検討を進めていく。

(5) ウイルス対策サーバ機器の更新

行政情報系の事務用パソコンのウイルス対策ソフトウェアの管理を行うサーバ機器について、令和3年12月末で保守期限を迎えることから、機器更新を行った。

4 セキュリティ対策事業

(1) 情報システム等に関するセミナーの受講

地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が主催する、情報システム等に関するセミナーについて、計2セミナーに申込みを行い、情報システムに関する知識の向上を図った。

(2) eラーニング等の研修受講

総務省が主催する、情報連携の仕組みやセキュリティ対策に関するWeb形式の研修について、マイナンバー取扱事務担当者を中心に計81人が受講し、適切な取扱い方法等に関する知識の向上を図った。

また、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が主催する、情報セキュリティに関するWeb形式の研修について、クライアント管理運営委員及びサーバ管理運営委員を中心に、計145人が受講し、組織におけるセキュリティ意識、個人情報保護意識の向上を図った。

(3) サイバー防御演習の受講

地方公共団体向けに、情報通信研究機構ならびに総務省が主催する、実践的サイバー防御演習（CYDER）を1人が受講し、情報システム管理者としてのインシデントレスポンス能力の向上を図った。

5 情報システム関連の危機管理（防災）対策

大規模災害罹災時における業務継続に必要な各システムのデータを安全に保管するため、各システムのバックアップデータの入った磁気テープ等を、週1回、同時被災のない遠隔地で管理、保管するよう業務を委託した。

6 市税等各種帳票印刷及び資料情報等作成業務

市税等に関する各種帳票の用紙印刷、帳票印字、及び封入封緘等の付随作業を含めた印刷業務、並びに市税等の住民税申告書等の紙資料データを電子データ化する作業等について、関係所属分を取りまとめ、一括した業務委託により実施した。

7 全庁向けシステム等の保守

総合住民情報システム及び行政情報システム等の、庁内各課で横断的に利用するシステムやプリンタについて、その安定稼働を確保するため、保守委託契約を締結し、システムの保守管理を実施した。また、総合住民情報システム、行政情報システム及びネットワークシステムについては、保守業者との保守定例会を毎月開催するなど、システムの安定稼働に努めた。

保守委託契約した主なシステム	保守契約先	支出額
総合住民情報システム	(株)松阪電子計算センター	16,465,680 円
総合住民情報システム用ネットワーク	〃	2,719,200
行政情報システム(内部情報系) 【財務会計、文書管理、グループウェア、電子決裁、庶務事務、人事給与】 (令和3年9月30日まで)	富士電機(株)三重営業所	7,557,000
行政情報システム(内部情報系) 【財務会計、文書管理、グループウェア、電子決裁、庶務事務、人事給与】	富士通 Japan(株)三重支社	45,550,340
ネットワーク・インターネットシステム	西日本電信電話(株)三重支店	7,243,500

8 各課業務におけるシステム運用支援等

各課でのシステム導入や情報機器の購入に伴う発注仕様書の作成を10件行うとともに、全庁的な情報システム運用管理の観点から、184件の仕様書等の内容確認を実施した。

このほか、各課主体のシステム導入や更新に伴い、業者選定でのプロポーザル評価においても、評価委員として3案件に参加した。

支援内容	件数	備考
仕様書作成	10件	・ノートパソコン、プリンタ等
仕様書等の内容確認	184件	・委託、賃貸借 125件 ・備品、物品 59件
プロポーザル選定委員	3件	・システム導入、更新 3件

企 画 調 整 課

1 第3次伊勢市総合計画

第3次伊勢市総合計画基本構想を実現するための施策の基本的な方針等を定める基本計画について、前期基本計画が令和3年度までの計画であることから、令和4年度からの4年間を計画期間とする中期基本計画の策定を進めた。

(1) 伊勢市総合計画審議会

○委員 15名（任期：令和3年6月20日～令和5年6月19日）

【開催状況】

開催日	内 容	場 所
3. 7. 20	・第3次伊勢市総合計画中期基本計画の策定について	いせシティプラザ 2階 多目的ホール
3. 8. 19 ～ 3. 8. 26	・第3次伊勢市総合計画の進行管理について	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面審議により開催
3. 10. 12	・第3次伊勢市総合計画中期基本計画(案)について	いせシティプラザ 2階 多目的ホール
3. 11. 25	・第3次伊勢市総合計画中期基本計画(案)について	いせシティプラザ 2階 多目的ホール
3. 12. 22	・第3次伊勢市総合計画中期基本計画(案)について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階 大会議室

(2) パブリック・コメント（政策意見提出制度）

○対 象：第3次伊勢市総合計画中期基本計画（案）

○募集期間：令和4年2月22日～3月22日

○意 見 数：10件

2 伊勢市総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき地方公共団体の長が定める「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」について、前大綱の対象期間が令和3年度までであることから、市長と教育委員会で構成する伊勢市総合教育会議での協議を行い、令和4年度からの5年間を対象期間とする新大綱へ改定した。（令和4年3月改定）

【開催状況】

開催日	内 容	場 所
3. 7. 15	・「伊勢市教育等の振興に関する施策の大綱」の改定について	小俣総合支所 3階 大研修室
3. 10. 18	・「伊勢市教育等の振興に関する施策の大綱」の改定について	小俣総合支所 3階 大研修室

(1) パブリック・コメント（政策意見提出制度）

- 対 象：伊勢市教育等の振興に関する施策の大綱（案）
- 募集期間：令和3年12月24日～令和4年1月24日
- 意見数：0件

3 第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略

「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進行管理を行うため、産官学金労言の各分野15名の関係者で構成される伊勢市まち・ひと・しごと創生会議において、取組の進捗状況の確認及び市の現状について意見交換等を実施した。

(1) 伊勢市まち・ひと・しごと創生会議

- 委員 15名（任期：令和2年6月28日～令和4年6月27日）

【開催状況】

開催日	内 容	場 所
3. 8. 2	・第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について ・意見交換	いせシティプラザ 2階 多目的ホール

4 定住自立圏構想

定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で形成する伊勢志摩定住自立圏について、圏域の関係者17名で構成される伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会を経て、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の変更を行った。

また、懇談会に加え構成市町の長で構成される伊勢志摩定住自立圏推進協議会において、各取組の進捗の確認を行うとともに、新規取組等についての協議等を行い、令和4年3月に関係市町と変更協定を締結した。

(1) 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

- 委員 17名（任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日）

【開催状況】

開催日	内 容	場 所
3. 5. 26 ～ 3. 6. 9	・第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの変更(案)について ・圏域の現状と課題について	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面審議により開催
3. 12. 2	・第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について ・新規取組等について ・圏域の現状と課題について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階 大会議室

(2) 伊勢志摩定住自立圏推進協議会

○構成 3市5町（委員：市町の長）

【開催状況】

開催日	内 容	場 所
3.12.27	・第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について ・新規取組等について ・伊勢志摩定住自立圏についての情報交換	大紀町コンベンションホール 大ホール

(3) 定住自立圏形成協定の変更

○消費生活センターの広域化（新規取組）

○病院群輪番制の維持（連携市町の追加）

○企業立地の推進（取組内容の変更）

5 宮川流域連携

宮川流域ルネッサンス協議会（平成12年6月9日設立：流域1市6町（伊勢市、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、大紀町）、三重県、国関係機関及び個人、団体、法人の代表で構成）に加入し、宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与する活動に取り組んだ。

(1) 協議会の主な活動状況

○宮ルネフォト募集

・応募期間：令和3年8月1日～11月30日

・応募作品数：260件

○植樹の実施

・日 時：令和3年12月4日

・実施場所：大台町大杉地区内

・植 樹 数：地域に適した樹木100本

・参加者数：13名

6 行財政改革

学識経験者など6名の委員で構成する伊勢市行政改革推進委員会の審議を経て、平成30年度に策定した伊勢市行財政改革プランに基づく取組項目（取組期間：平成30年度～令和3年度）の進行管理及び令和4年度からの4年間を計画期間とする伊勢市行財政改革指針の策定を行った。

(1) 伊勢市行政改革推進委員会

○委員 6名（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

【開催状況】

開催日	内 容	場 所
3. 4. 27 ～ 3. 5. 7	・行財政改革プラン取組項目の令和2年度実施結果について	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面審議により開催
3.10. 1	・次期行財政改革プランについて	本庁舎 本館3階 議会会議室
4. 2. 18	・行財政改革指針(案)について	本庁舎 本館3階 議会会議室

7 広告事業

本市が所有する様々な資産を、民間企業の広告出稿等によって積極的に有効活用し、新たな財源の確保及び事業経費の削減などを図るため、広告掲載事業を行った。

○実施媒体：広報いせ、ホームページバナー、庁内案内板、広告入り窓口封筒、納税通知書用封筒、じん芥収集車（ラッピング広告）、ごみカレンダー、雑誌スポンサー、倉田山公園野球場（ベンチ上壁面・外野グラウンドフェンス）、伊勢フットボールヴィレッジ広告板、下水道事業パンフレット

○収入金額：8,258,600円

8 シティプロモーション

市外在住者に伊勢市への関心をもってもらおうとともに、市民にまちへの誇りや愛着をもってもらうため、シティプロモーションに係る取組を進めた。

(1) 伊勢市情報発信番組制作・放送

三重テレビ放送株式会社に委託し、同社の制作する地上波テレビジョン放送番組「Mieライブ」内のコーナー枠「旬感☆Mie」において、市の各種施策や行事など、市に関する様々な情報を発信した。 ※いずれも夕方6時から30分程度の放送、翌朝に再放送

【情報発信番組一覧】

放 映 日	内 容
3. 9. 2	・第50回初穂曳開催の紹介 ・オンラインツアーの取組(造成促進)
3.11.11	・竹内浩三100周年記念事業を紹介 ・地元大学生と作る「広報いせ」の活動が4年目を迎える
4. 3.18	・伊勢市におけるDX・スマートシティ推進の取組 ・行政手続きのオンライン申請サービス「伊勢市スマート申請」の紹介

(2) 情報配信業務委託

高い発信力を有するプレスリリースサービスを活用し、伊勢市における独自性・優位性のある取組や施策、地域の魅力を配信した。

【配信記事一覧】

配 信 日	内 容
3. 6. 16	・2021年は伊勢の詩人「竹内浩三」生誕100年
3.12. 1	・誰もが自分らしく暮らせる「共生社会」の取組紹介
3.12.15	・この冬、家族の思い出作りをぜひ伊勢で
4. 1.15	・今がおいしい！「伊勢のいちご」を紹介
4. 2. 1	・伊勢市スマート申請サービス開始 ／伊勢市LINE公式アカウントリニューアル

(3) 移住・定住の推進

移住検討者向けに市内での暮らしの魅力を体験的に紹介する動画を制作・配信するとともに、三重県主催の移住相談会に参加し、PRを実施した。

また、若者の定住促進に向け、皇學館大学生を対象とした大学生の伊勢市定着に向けた意識調査や、伊勢商工会議所や皇學館大学と連携し、市内の若手企業経営者と皇學館大学生の交流・意見交換会を開催した。

(4) 「図柄入り伊勢志摩ナンバープレート」の周知啓発

圏域市町（伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町・明和町）で連携して広報紙への掲載を行うとともに、四日市・伊勢志摩図柄入りナンバー普及促進協議会（事務局：中部運輸局三重運輸支局）作成の啓発チラシ等を市内公共施設に配架し、周知啓発を図った。

9 共生社会ホストタウン

本市のユニバーサルデザインのまちづくりや心のバリアフリーに向けた取組の加速化を図るため、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて国が進める「共生社会ホストタウン」の登録を受け、東京2020パラリンピック競技大会に出場するラオス人民民主共和国（以下「ラオス」）パラ陸上チームの事前合宿受入れや、オンライン形式によるラオスパラ陸上選手や日本人パラリンピアンとの交流事業などを実施した。

(1) 事前合宿受入れ

○受入期間：令和3年8月13日～20日

○場 所：三重県営総合競技場（陸上競技場）

国から示された方針に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、東京2020パラリンピック大会に参加するラオスパラ陸上チーム（選手1名（※）、スタッフ4名）の受入れを実施した。

事前合宿期間中には、市立小学校22校の児童や市内陸上クラブ等による歓迎・応援動画を事前収録し、練習会場において上映した。

※パラ陸上・男子100m・視覚障がいクラス

(2) オンライン形式による交流授業の実施

実施日	内 容	実施校・学年
4. 1. 18	「パラリンピックが教えてくれたこと」 子ども達の多様性理解を促進させることを目的に、東京 2020 パラリンピック競技大会に陸上女子走幅跳・100m 日本代表と して出場した「前川 楓」さんを講師に実施した。	東大淀小 3・4年 早修小 4・5・6年
4. 1. 25	「パラリンピックが教えてくれたこと」 子ども達の国際理解・多様性理解を促進させることを目的に、 ラオスパラ陸上選手と「NPO 法人 アジアの障害者活動を支援 する会(ADDP)」の方を講師に実施した。	中島小4年 佐八小6年
4. 2. 14	「ラオスを知ろう 2022」 子ども達の国際理解・多様性理解を促進させることを目的に、 ラオスパラ陸上選手と「NPO 法人 アジアの障害者活動を支援 する会(ADDP)」の方を講師に実施した。	浜郷小4年A組 豊浜東小4年

10 伊勢市ふるさと応援寄附金

市の貴重な自主財源の確保、地元特産品の PR 及びブランド力の向上、市内産業や観光振興を目的として、ふるさと納税制度を活用した寄附拡大の取組を推進した。

○受領件数： 10,447 件

○受領金額：431,988,684 円

○令和3年度掲載返礼品数：674 品

【受領した寄附の目的別内訳】

事業区分(活用先)	件数	金額
子どもを産み育てやすい環境づくり	3,176 件	125,102,000 円
超高齢社会への対応	517	20,257,000
地域のつながりの再生	192	5,803,000
集約型都市構造の促進と公共交通体系の整備	156	5,578,000
選ばれるまちづくり	339	11,532,000
自然災害への備え	774	30,286,000
有形・無形の歴史的・文化的遺産の継承と活用	1,332	50,234,000
市立伊勢総合病院の充実	300	12,549,000
育英基金	308	13,121,000
市政全般(特に指定しない)	2,778	133,833,000
新型コロナウイルス感染症対策	419	19,728,365
GCF(花のまちづくり推進事業)※	82	390,000
GCF(障がい者就労体験サポート事業)※	61	1,128,000
具体的に用途を指定した方	13	2,447,319
計	10,447	431,988,684

※GCF(ガバメントクラウドファンディング)は、自治体が行うクラウドファンディングで、自治体の掲げる課題解決のテーマを応援するために、寄附をする仕組みである。

11 調査統計

(1) 市民アンケートの実施

市民の意識や日常生活における活動等を把握し、今後の市政に反映させるための基礎資料を得ることを目的として、市民アンケートを実施した。

実施期間	調査対象等	調査項目	回答結果
3.11.12 ～ 3.12.6	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象 市内にお住まいの平成18年4月1日以前にお生まれの方(令和3年度中に16歳以上となる方) ・抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出により3,500人を抽出 ・調査方法 配布：郵送 回収：郵送またはインターネット 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民自治、国際交流、男女共同参画、人権 ②生活の中での困りごと、児童虐待、DV、障がい者差別の解消、高齢者の福祉 ③運動、スポーツ ④ネーミングライツ制度 ⑤地産地消 ⑥ごみの減量・資源化、地球温暖化 ⑦医療、防災、防犯、消防、救急 ⑧キャッシュレス決済、商業、消費生活 ⑨交通環境、公園、道路、中心市街地 ⑩市職員、情報端末、広報活動 ⑪観光振興 ⑫まちづくり、SDGs、住みやすさ ⑬取組全体について ⑭新型コロナウイルス感染症 	回答者数 1,601人 回答率 45.7%

(2) 経済センサス-活動調査(調査周期：5年 所管省庁：総務省・経済産業省)

全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を、全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的として、市内の事業所及び企業に対して、従業者数、事業の内容、収入金額等を調査した。

なお、今回の調査では、原則、調査員が調査票の回収及び督促は行わずに、事業所が郵送またはインターネットにより回答する調査方法とし、事業所に説明等をするときは、インターホン越しで行い、やむを得ず対面する場合は、一定の距離をとって必ずマスクを着用するなど、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら調査を実施した。

○調査期日：令和3年6月1日(火)

○調査対象：7,232事業所

○調査員説明会：令和3年5月10日(月)～5月13日(木) 計4回

○調査員数：77人

【速報集計(令和4年5月31日総務省公表)】

事業所数	従業者数
事業所 6,120	人 53,054

(3) 三重県人口推計調査(調査周期：毎月 所管：三重県)

国勢調査による人口、男女数及び世帯数を基準に、住民基本台帳における異動を加減して、

毎月1日現在の人口を推計した。

令和4年3月1日現在

総人口	男	女	世帯数
121,203 人	57,458 人	63,745 人	51,696 世帯

(4) 学校基本調査（調査周期：毎年 所管省庁：文部科学省）

学校教育行政上の基礎資料を得るため、令和3年5月1日現在における、市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小・中学校等の園児・児童・生徒数、教員数等を調査した。

なお、中学校については卒業後の進路を、私立学校については学校施設等を併せて調査した。

調査対象	公私立別	園・学校数	園児・児童 ・生徒数	教員数	
				本務者	兼務者
幼稚園	公立	園・校 9	人 132	人 13	人 -
	私立	6	284	48	6
幼保連携型 認定こども園	公立	1	98	12	16
	私立	7	1,124	144	50
小学校	公立	22	6,014	435	87
中学校	公立	10	3,106	223	51
	私立	1	85	14	8
計		56	10,843	889	218

(5) 市勢統計要覧の作成

伊勢市の自然、人口、産業、民生、建設、教育等の基本的統計データを収録した「2021年（令和3年）版市勢統計要覧」を作成した。

また、e-Stat（政府統計の総合窓口）、みえDataBox（三重県所管の統計情報）からデータを収集し、市ホームページで公開している伊勢市統計データベースを更新した。

(6) 統計調査員の推薦

各種統計調査を実施するにあたり、三重県に対して調査員の推薦を行った。

- 労働力調査：7名
- 社会生活基本調査：9名
- 毎月勤労統計調査：8名

(7) 統計調査員の確保対策

国が実施する統計調査に際して、統計調査員、指導員の選任が困難になっている現状を改善するため、あらかじめ希望者を登録することを目的として、広報いせ、市ホームページ等で募集を行った。

また、登録者に対して現況調査を実施し、登録継続の意向確認を行い、登録者情報を更新した。

- 令和4年3月31日現在登録者数 175名

財 政 課

1 歳入歳出予算

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、次のとおりであった。

(単位：千円)

区 分	当初予算額 3. 3. 19 議決	補 正 予 算 額		
		3. 3. 19 議 決	3. 4. 2 専 決	3. 6. 21 議 決
一 般 会 計	52,564,392	①711,839	②83,066	③17,920
特 別 会 計	国民健康保険	12,759,140	①1,007	②8,300
	後期高齢者医療	3,255,299		
	介 護 保 険	14,543,441		
	住宅新築資金等 貸 付 事 業	3,570		
	観 光 交 通 対 策	585,199		
	土 地 取 得	506,107		
	計	31,652,756		
合 計	84,217,148	712,846	83,066	26,220

補 正 予 算 額				
3. 7. 7 議 決	3. 8. 12 専 決	3. 9. 22 議 決	3. 9. 22 議 決	3. 11. 26 専 決
④741,484	⑤80,798	⑥250,054	⑦151,900	⑧902,921
		①170,161		
741,484	80,798	420,215	151,900	902,921

区 分		補 正 予 算 額			
		3. 12. 16 議 決	3. 12. 24 議 決	3. 12. 24 議 決	4. 1. 27 議 決
一 般 会 計		⑨897, 152	⑩434, 122	⑪1, 762, 422	⑫715, 764
特 別 会 計	国民健康保険		③78, 896		
	後期高齢者医療		①△2, 598		
	介護保険		②△27, 908		
	住宅新築資金等 貸付事業				
	観光交通対策				
	土地取得				
	計				
合 計		897, 152	482, 512	1, 762, 422	715, 764

補 正 予 算 額			繰 越 明許費 繰越額	予算総額
4. 1. 27 議 決	4. 3. 18 議 決	4. 3. 18 議 決		
⑬1, 215, 300	⑭△1, 066, 869	⑮52, 471	3, 242, 768	62, 757, 504
	④46, 027			12, 893, 370
	②13, 549			3, 266, 250
	③△70, 295			14, 615, 399
	①△210			3, 360
	①△169, 276			415, 923
	①△303, 054			203, 053
	△483, 259			31, 397, 355
1, 215, 300	△1, 550, 128	52, 471	3, 242, 768	94, 154, 859

※○内の数字は、補正の回数を表す。

2 地方交付税

本年度における地方交付税の状況は、次のとおりであった。

(1) 普通交付税 11, 048, 842 千円

(一本算定)

・基準財政需要額	25, 513, 487 千円
・基準財政収入額	14, 464, 645 千円
・交付基準額	11, 048, 842 千円
・調整額	- 千円
・交付決定額	11, 048, 842 千円

(2) 特別交付税 929, 409 千円

3 市債の状況

一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計における市債の借入れの状況は、次のとおりであった。

(1) 年度末現在高

会 計 名	令和3年度末現在
一 般 会 計	59,664,368 千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	331
計	59,664,699

(2) 借入状況 (一般会計)

事 業 名	借入額	借入年月日	借入先	借利率	備考
一 般 単 独 事 業 債	千円 28,900	4.5.30	伊勢農業協同組合	% 0.29	※
	91,100	4.5.30	〃	0.29	
緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業 債	201,800	4.3.30	市町村職員共済組合	0.2	
	473,000	4.4.20	市町村振興協会	0.2	
	27,600	4.5.30	伊勢農業協同組合	0.29	
	38,100	4.5.30	〃	0.39	
	131,000	4.5.30	〃	0.39	※
防 災 対 策 事 業 債	15,100	4.3.25	全国市有物件災害共済	0.03	
	103,000	4.5.26	地方公共団体金融機構	0.009	
	11,800	4.5.26	〃	0.4	
	3,600	4.5.30	桑名三重信用金庫	0.14	
	5,100	4.5.30	伊勢農業協同組合	0.29	
社会福祉施設整備事業債	3,100	4.5.30	〃	0.29	
一般廃棄物処理事業債	3,300	4.5.30	桑名三重信用金庫	0.14	
公 共 事 業 等 債	6,000	4.3.25	財 務 省	0.2	※
	48,300	4.3.25	〃	0.3	※
	63,700	4.3.25	〃	0.5	※
	10,800	4.5.26	〃	0.2	
	113,900	4.5.26	〃	0.4	
	134,400	4.5.26	〃	0.5	
地 域 活 性 化 事 業	8,600	4.5.30	伊勢農業協同組合	0.29	

事業名	借入額	借入年月日	借入先	借利率	備考
緊急自然災害防止対策事業債	千円 71,700	4.3.30	地方公共団体金融機構	% 0.3	※
	203,000	4.5.26	〃	0.2	
	209,400	4.5.26	〃	0.4	
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	5,100	4.3.25	財務省	0.2	※
	102,900	4.3.25	〃	0.3	※
	9,500	4.3.25	〃	0.5	※
緊急浚渫推進事業債	16,300	4.5.30	桑名三重信用金庫	0.18	
一般補助施設整備等事業債	2,400	4.5.26	財務省	0.4	
	5,100	4.5.30	桑名三重信用金庫	0.14	
	5,500	4.5.30	伊勢農業協同組合	0.29	
	450,000	4.5.30	〃	0.39	
市町村合併特例事業債	148,000	4.5.30	〃	0.29	※
地方道路等整備事業	176,600	4.3.30	市町村職員共済組合	0.2	
	7,300	4.5.30	伊勢農業協同組合	0.29	※
	94,200	4.5.30	〃	0.29	
公共施設適正化事業債	21,400	4.5.30	〃	0.29	※
都市開発資金貸付金債	600,000	4.3.17	国土交通省	—	
公営住宅整備事業債	25,300	4.5.30	伊勢農業協同組合	0.29	
学校教育施設等整備事業債	35,800	4.5.30	〃	0.29	
臨時財政対策債	2,010,000	4.5.26	財務省	0.3	
河川災害復旧事業債	15,900	4.3.25	〃	0.2	※
計	5,737,600				

備考欄「※」：前年度繰越事業に係る借入分

4 一般会計決算の状況

(1) 歳入歳出決算額と前年度との比較

ア 歳入

区分	令和3年度		令和2年度		比較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 市 税	千円 16,092,710	% 27.1	千円 16,541,456	% 24.0	千円 △ 448,746	% △ 2.7
(1) 普通税	14,749,597	24.8	15,134,526	22.0	△ 384,929	△ 2.5
(2) 目的税	1,343,113	2.3	1,406,930	2.0	△ 63,817	△ 4.5
2 地方譲与税	363,809	0.6	356,474	0.5	7,335	2.1
3 利子割交付金	12,912	0.0	18,130	0.0	△ 5,218	△ 28.8
4 配当割交付金	127,304	0.2	84,142	0.1	43,162	51.3
5 株式等譲渡 所得割交付金	138,197	0.2	91,093	0.1	47,104	51.7
6 法人事業税 交付金	218,287	0.4	100,864	0.1	117,423	116.4
7 地方消費税 交付金	3,060,893	5.2	2,824,796	4.1	236,097	8.4
8 ゴルフ場 利用税交付金	12,153	0.0	16,254	0.0	△ 4,101	△ 25.2
9 自動車取得 税交付金	6	0.0	22	0.0	△ 16	△ 72.7
10 環境性能割 交付金	39,946	0.1	39,228	0.1	718	1.8
11 国有提供施設 等所在市町村 助成交付金	84,192	0.2	87,372	0.1	△ 3,180	△ 3.6
12 地方特例 交付金	476,655	0.8	122,106	0.2	354,549	290.4
13 地方交付税	11,978,251	20.2	10,959,020	15.9	1,019,231	9.3
(1) 普通交付税	11,048,842	18.6	10,111,250	14.7	937,592	9.3
(2) 特別交付税	929,409	1.6	847,770	1.2	81,639	9.6
14 交通安全対策 特別交付金	14,069	0.0	14,290	0.0	△ 221	△ 1.5
15 分担金及び 負担金	611,768	1.0	557,690	0.8	54,078	9.7
16 使用料及び 手数料	321,597	0.5	316,308	0.5	5,289	1.7
17 国庫支出金	12,985,175	21.9	22,060,055	32.0	△ 9,074,880	△ 41.1
18 県支出金	3,582,101	6.0	3,476,755	5.1	105,346	3.0
19 財産収入	134,380	0.2	83,442	0.1	50,938	61.0
20 寄附金	593,989	1.0	458,787	0.7	135,202	29.5
21 繰入金	1,181,960	2.0	2,126,259	3.1	△ 944,299	△ 44.4
22 繰越金	791,953	1.3	354,478	0.5	437,475	123.4
23 諸収入	839,603	1.4	646,664	0.9	192,939	29.8
24 市債	5,737,600	9.7	7,634,100	11.1	△ 1,896,500	△ 24.8
歳入合計	59,399,510	100.0	68,969,785	100.0	△ 9,570,275	△ 13.9

イ 歳出（目的別）

区分	令和3年度		令和2年度		比較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 議会費	千円 294,839	% 0.5	千円 302,229	% 0.4	千円 △ 7,390	% △ 2.4
2 総務費	5,097,289	8.7	4,161,137	6.1	936,152	22.5
3 民生費	23,695,356	40.4	33,024,776	48.5	△ 9,329,420	△ 28.2
4 衛生費	6,697,151	11.4	5,358,771	7.9	1,338,380	25.0
5 労働費	59,823	0.1	60,491	0.1	△ 668	△ 1.1
6 農林水産業費	852,109	1.5	960,239	1.4	△ 108,130	△ 11.3
7 商工費	895,150	1.5	1,688,957	2.5	△ 793,807	△ 47.0
8 観光費	620,175	1.1	717,573	1.1	△ 97,398	△ 13.6
9 土木費	7,592,658	12.9	5,710,045	8.4	1,882,613	33.0
10 消防費	2,713,413	4.6	2,333,939	3.4	379,474	16.3
11 教育費	4,494,609	7.7	7,776,528	11.4	△ 3,281,919	△ 42.2
12 災害復旧費	54,776	0.1	237,865	0.4	△ 183,089	△ 77.0
13 公債費	5,591,174	9.5	5,700,282	8.4	△ 109,108	△ 1.9
14 諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	58,658,522	100.0	68,032,832	100.0	△ 9,374,310	△ 13.8

ウ 歳出（性質別）

区分	令和3年度		令和2年度		比較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 人件費	千円 10,073,678	% 17.2	千円 9,781,309	% 14.4	千円 292,369	% 3.0
2 物件費	7,642,176	13.0	6,729,361	9.9	912,815	13.6
3 維持補修費	405,355	0.7	365,160	0.5	40,195	11.0
4 扶助費	14,919,340	25.4	11,809,547	17.4	3,109,793	26.3
5 補助費等	8,897,361	15.2	17,396,796	25.6	△ 8,499,435	△ 48.9
6 普通建設 事業費	4,208,872	7.2	7,484,037	11.0	△ 3,275,165	△ 43.8
(1) 補助事業費	1,023,423	1.8	1,371,005	2.0	△ 347,582	△ 25.4
(2) 単独事業費	2,986,800	5.1	5,928,626	8.7	△ 2,941,826	△ 49.6
(3) 事業負担金	198,649	0.3	184,406	0.3	14,243	7.7
7 災害復旧 事業費	54,863	0.1	238,527	0.3	△ 183,664	△ 77.0
(1) 補助事業費	49,482	0.1	204,791	0.3	△ 155,309	△ 75.8
(2) 単独事業費	5,381	0.0	33,736	0.0	△ 28,355	△ 84.0
8 失業対策 事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
(1) 補助事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 単独事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
9 貸付金	1,200,000	2.1	6,000	0.0	1,194,000	19,900.0
10 公債費	5,591,174	9.5	5,700,282	8.4	△ 109,108	△ 1.9
11 投資及び 出資金	0	0.0	41,000	0.1	△ 41,000	△ 100.0
12 積立金	665,180	1.1	77,743	0.1	587,437	755.6
13 繰出金	5,000,523	8.5	8,403,070	12.3	△ 3,402,547	△ 40.5
歳出合計	58,658,522	100.0	68,032,832	100.0	△ 9,374,310	△ 13.8

エ 一般会計決算の市民1人当たりの額

(令和4年3月31日現在人口 122,580人)

歳 入			歳 出		
区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額	区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額
市 税	千円 16,092,710	円 131,283	消 費 的 経 費	千円 41,937,910	円 342,126
地方譲与税	363,809	2,968	人 件 費	10,073,678	82,180
利子割交付金	12,912	105	物 件 費	7,642,176	62,344
配当割交付金	127,304	1,039	維持補修費	405,355	3,307
株式等譲渡 所得割交付金	138,197	1,127	扶 助 費	14,919,340	121,711
法人事業税交付金	218,287	1,781	補 助 費 等	8,897,361	72,584
地方消費税 交 付 金	3,060,893	24,971	投 資 的 経 費	4,263,735	34,784
ゴルフ場利用税 交 付 金	12,153	99	普 通 建 設 事 業 費	4,208,872	34,336
自動車取得税 交 付 金	6	0	災 害 復 旧 事 業 費	54,863	448
環境性能割 交 付 金	39,946	326	失 業 対 策 事 業 費	0	0
国有提供施設 等所在市町村 助 成 交 付 金	84,192	687	そ の 他 の 経 費	12,456,877	101,623
地方特例交付金	476,655	3,888	貸 付 金	1,200,000	9,790
地方交付税	11,978,251	97,718	公 債 費	5,591,174	45,612
交通安全対策 特 別 交 付 金	14,069	115	投 資 及 び 出 資 金	0	0
分担金及び 負 担 金	611,768	4,991	積 立 金	665,180	5,427
使用料及び 手 数 料	321,597	2,624	繰 出 金	5,000,523	40,794
国庫支出金	12,985,175	105,932			
県支出金	3,582,101	29,223			
財産収入	134,380	1,096			
寄 附 金	593,989	4,846			
繰 入 金	1,181,960	9,642			
繰 越 金	791,953	6,461			
諸 収 入	839,603	6,849			
市 債	5,737,600	46,807			
歳 入 合 計	59,399,510	484,578	歳 出 合 計	58,658,522	478,533

5 基金の決算状況

条例に定める基金の設置目的に従い、基金に属する現金等の適正な管理を行った。

種 類	区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高
財 政 調 整 基 金	現 金	千円 10,353,062	千円 161,267	千円 10,514,329
減 債 基 金	現 金	1,173,376	551,819	1,725,195
ふ る さ と 創 生 基 金	現 金	1,442,060	△673,266	768,794
国 際 交 流 基 金	現 金	60,000	2	60,002
庁 舎 整 備 基 金	現 金	10,647	17	10,664
職 員 退 職 手 当 基 金	現 金	446,379	691	447,070
月 僱 金 復 興 社 会 事 業 基 金	現 金	7,994	0	7,994
地 域 福 祉 基 金	現 金	326,374	△35,760	290,614
災 害 援 護 基 金	現 金	107,874	167	108,041
中 山 間 ふ る さ と ・ 水 と 土 保 全 対 策 基 金	現 金	47,869	74	47,943
河 川 環 境 基 金	現 金	10,264	16	10,280
育 英 基 金	現 金	93,331	25,591	118,922
文 化 振 興 基 金	現 金	154,843	△11,384	143,459
地 域 振 興 基 金	現 金	2,578,217	△363,606	2,214,611
景 観 形 成 基 金	現 金	430,564	667	431,231
森 林 づ く り 基 金	現 金	15,917	7,277	23,194
民 俗 伝 統 行 事 継 承 基 金	現 金	183,950	21,518	205,468
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	現 金	21,167	9,257	30,424
計	現 金	17,463,888	△305,653	17,158,235

広 報 広 聴 課

○ 広報いせ発行业

「広報いせ」を毎月1日と15日（1月・5月は合併号として1日のみ）に発行し、市の方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報、新型コロナウイルスに関する伊勢病院の先生のコラムなどを広く市民に広報し、正しい理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。また、「広報いせ」への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

（広告掲載件数：256件、収入金額：3,460,000円）

発行号	ページ	発行部数	主 な 記 事
4月15日号	16	54,400	市民ふれあいスポカルウォーク、シリーズ人権「一人ひとりが輝くために」、MOTTAINAI～3R+リスペクト～をもう一度！、いせぼれんだより、新型コロナウイルス対策への第2回食糧支援実施、新型コロナワクチン接種のお知らせ
5月1日号	36	54,420	特集 施政方針と当初予算、ピックアップ伊勢市新型コロナウイルス対策、まちづくり協議会トピックス、伊勢市犯罪被害者等支援条例を制定しました、上惣之歩道橋 小俣中学校美術部の皆さんが橋名板をデザイン、令和3年度に行う下水道工事
6月1日号	36	54,420	特集 災害と向き合う大雨・台風への備え、SDGs～より良い未来のために～、伊勢市防災大学の受講生を募集、伊勢市の水道の今とこれから、シリーズ三重とこわか国体「全国の強豪伊勢に集う」～まちが愛してくれる国体を目指して～、市営住宅・高齢者向け市営住宅の入居者を募集、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた皆様へ(Ver.5)
6月15日号	16	54,420	男女共同参画週間、健康文化週間の健康づくりイベント、健康づくりに取り組んで健康とお得をゲットしよう！伊勢市健康マイレージ、新型コロナワクチン特別版 お答えします！健康に関する素朴な疑問 健康なんでも相談室、LINEチャットボットで「障がい福祉の案内」を開始しました、生活困窮者自立支援・生活保護制度、市営プール・二見浦海水浴場の開設休止について
7月1日号	36	54,430	特集 今、生物多様性がピンチ！まもろういせの仲間たち。私たちができること、福祉生活相談センターを設置、みんなで防ごう！障がい者・高齢者虐待、支援を必要とする子どものためにパーソナルファイルを活用しましょう！

7月15日号	頁 16	部 54, 410	夏休みの思い出づくりにみて！きいて！たしかめて！楽しくいせの文化と歴史を学ぼう！、家庭と地域の力で子どもが生き生き輝く夏休みに！、伊勢市自主防犯団体連絡会の活動と市内の犯罪発生状況
8月 1日号	32	54, 510	特集 MOTTAINAIが地球を救う！皇學館大学生が取材・実践 ごみ減量大作戦、戦後76年 戦争体験者とともに平和を考える、国体（伊勢市開催競技）を観覧するには、後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置の設置費用を補助、地籍調査について、市職員を目指す人・興味がある人、就職を控える皆さんへ 職員インタビュー
8月15日号	12	54, 420	気象警報などが発表された場合の新型コロナワクチン接種の中止対応について、聴覚障がいのある人へ 情報伝達やコミュニケーションを支援、低カロリー・バランス食 家庭で実践cooking
9月 1日号	36	54, 550	特集 1票に思いを込めて、認知症の人にやさしいまちを目指して 支え支えられ、認知症とともに笑顔で暮らす伊勢市、市の花・木・鳥の制定についてのアンケートを実施中、野口みずきさんと一緒に走ろう！お伊勢さんオンラインマラソン2021、いせ国際交流日本語スピーチ大会、おかげバスで交通系ICカードが利用可能になります、便利です！マイナンバーカード 証明書コンビニ交付サービスのご案内
9月15日号	16	54, 420	新型コロナウイルス感染症の感染拡大 引き続き感染予防の徹底にご協力を！、マダニ媒介感染症に注意しましょう！、～管理不全空家の解消と空家対策について～空家等の適切な管理をお願いします、ファミマフードドライブがはじまりました、ペットの災害への備え、台風や豪雨等による土砂災害に警戒を！
10月 1日号	28	54, 430	特集 文化の秋 掘り出し発見！伊勢の石器、放課後児童クラブの利用児童を募集、伊勢総合病院および伊勢市休日・夜間応急診療所でマイナンバーカードを健康保険証として利用できます、伊勢市地元の魅力再発見店舗応援商品券の一般販売を行います！、2021すぐ食べるならつれてって！キャンペーン
10月15日号	16	54, 420	コロナ禍における災害時の避難について、みえ安心おもてなし施設認証取得奨励金、障害者手帳アプリミライロIDが市の施設で使用できるようになりました、戦争の悲惨さ 平和の尊さを学んだ夏 中学生ピースメッセンジャー広島平和事業、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた皆様へ(Ver.6)

11月 1日号	36	54, 540	部 特集 考えよう！環境のこと、食べよう！伊勢の横輪いも、安全・安心な投票所を目指して、図書館まつり、女性の人権ホットライン強化週間、市・県民税の主な税制改正、「伊勢広域環境組合ごみ処理施設整備事業」に関する環境影響評価準備書および都市計画案の縦覧と説明会の開催について、令和2年度決算に基づく健全化判断比率等を公表
11月15日号	12	54, 420	「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間です、冬の恋トークイベントin伊勢、竹内浩三生誕100年企画展・講演会、終活 最期まで自分らしく生きるために
12月 1日号	36	54, 470	特集 市民のまつり伊勢まつりにかける思い、里親制度、衆議院議員総選挙・伊勢市議会議員選挙投票率結果、乗って残そう！バス路線、県内で唯一 伊勢市は先導的共生社会ホストタウンに認定されています、災害時 地域で支え合うために 避難行動要支援者制度、市の人事行政の運営状況を公表、空家バンクに登録しませんか
12月15日号	12	54, 430	地域の力でつくろう 年末年始を迎えるために 安全・安心なまち、人権尊重啓発ポスター・標語の入賞者が決まりました、男性の育児応援セミナーを開催、第1回いせ市民後見人養成講座を開催します
1月 1日号	36	54, 480	特集 インタビュー伊勢の輝きアスリート、令和4年新年のごあいさつ、市勢の発展に尽力された功労者を表彰、「世界に発信！伊勢市短詩型文学祭」の入賞作品が決定、「つながりが誇りと安らぎを育む魅力創造都市伊勢」を目指して まちの計画への意見を募集、新型コロナワクチン(3回目接種)追加接種のお知らせ
2月 1日号	36	54, 460	特集 体の健康はお口から、市の花・木・鳥が決まりました、身近にある男女の格差に目を向けましょう、市・県民税の申告 所得税の確定申告、所得税の確定申告書はe-Taxが便利です、地域包括ケアシステム啓発オンライン講演会、最期まで豊かに生きるための人生会議の理解と普及、新型コロナワクチン(3回目接種)接種予約について
2月15日号	16	54, 450	いせっ子朝食メニューコンクール入賞作品を紹介します、高齢者や認知症にやさしい応援団 「こども作文コンクール」の優秀作品が決定しました、火災・救急・救助の概要、第15回美し国三重市町対抗駅伝の開催中止について、企画展 旧市川造船所資料展、祝成人 伊勢市新成人のつどい

3月 1日号	32	54,480	伊勢市・玉城町・度会町 伊勢市消防本部管内合同特集 皇學館大学大学生体験取材 いつも心に火の用心、伊勢市スマート申請を開始、住民税非課税世帯等臨時特別給付のお知らせ、病児保育エンゼルのご利用を、STOP！コロナ差別「3つの感染症」を知り 差別や偏見をなくそう
3月15日号	8	54,470	今年もきれいに咲いて一な もうすぐ伊勢にも桜の便りが届きます、後期高齢者医療制度 一定以上の所得がある人の医療費の窓口負担割合が変わります、離婚などで子育て世帯の臨時特別給付金を受けていない皆さんへ、4月1日(金)から コミュニティバスの一部ダイヤを改正します
4月 1日号	40	54,480	特集 このまちで活動が続ける理由がある、まとめてご紹介！補助金・支援などで暮らしをサポート、住所異動・証明書交付の手続きをお忘れなく、市税の納期内納付にご協力ください

○ CATV広報いせ放送事業

行政情報番組〔お知らせ番組（毎週更新）と特集番組（毎月更新）〕を制作し、市政に関するお知らせなどを放送した。

<特集番組（毎月1日更新）>

放送回数 1日8回（午前6時・8時・11時・午後1時・4時・6時・9時・11時）

月	タイトル	内容
4	令和3年度の主な事業の紹介	令和3年度の事業についてのご案内
5	伊勢の歴史探訪 ～名勝二見浦の絶景に迫る～	二見浦の地形や地質、絵図などから、二見浦の歴史をご紹介します
6	“岡っ引き やす” おうちでエコ ～省エネを学ぶ！ノ巻～	暮らしの工夫で実践できる身近な環境対策をご紹介します
7	伊勢市消防本部 救急隊レポート	日常生活を守る救助隊の訓練や、水難事故の対処方法などをご紹介します
8	サウンドテーブルテニス対決 「はなてらすちゃん×とこまる」	障がいの有無を問わず、誰でも一緒に楽しむことができる「サウンドテーブルテニス」をご紹介します
9	明るい選挙を目指して	皇學館大学の「CLL活動」の様子を交えながら、伊勢市における選挙の状況や投票の仕方をご紹介します
10	パパママの家庭教育を応援します	何気ない日常から、家庭で実践できる家庭教育のきっかけづくりをご紹介します
11	伝わるよ 思いやりの心 その笑顔 ～差別をなくす強調月間～	思い込みや偏見による思いがけない差別の例や、伊勢市の取り組みなどをご紹介します
12	ふるさと未来づくり ～まちづくり協議会の取り組み～	まちづくり協議会の活動をご紹介します(防災活動を評価された浜郷地区まちづくり協議会、新しい活動にチャレンジする沼木まちづくり協議会)

1	伊勢の歴史探訪 ～伊勢市を流れる宮川～	宮川にまつわる遺跡、地形・地質、恵みと治水、架橋などの歴史をご紹介します
2	身近に潜む火災から命を守る	モバイルバッテリー・スマートフォンの発火事例、消毒用アルコールの火災実験、キャンプ用品の着火剤の危険性など、身近に発生している火災例を皇學館大学生の体験レポートを交えながらご紹介
3	大切な「命ーいのちー」を守るために	自殺から自分や大切な人を守るためにしておくこと、できることをご紹介します

<お知らせ番組（毎週土曜日更新）>

放送回数 1日8回（午前7時・9時・正午・午後2時・5時・7時・10時・翌日午前0時）

月	内 容
4	お知らせ（新型コロナワクチン接種、固定資産税・都市計画税の納付 など）
5	お知らせ（自主防犯活動、消費者月間、下水道の整備、「経済センサス-活動調査」実施のお知らせ など）
6	お知らせ（不法投棄禁止、伊勢市奨学金、がん検診 など）
7	お知らせ（市職員募集、夏の交通安全県民運動、証明書コンビニ交付サービスのご案内 など）
8	お知らせ（「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業参加者報告、野焼きの禁止、地籍調査 など）
9	お知らせ（動物愛護週間、高齢者インフルエンザ予防接種 など）
10	お知らせ（すぐ食べるなら連れてってキャンペーン、ロコモティブシンドローム予防、3歳児健康診査 など）
11	お知らせ（特定健康診査・特定保健指導、差別をなくす強調月間 など）
12	お知らせ（人権尊重啓発ポスター・標語作品紹介、年末年始の交通対策 など）
1	お知らせ（不妊不育治療医療費助成事業、おひなさまめぐりin二見 など）
2	お知らせ（市・県民税の申告と所得税の確定申告、住所変更手続き など）
3	お知らせ（女性の健康づくり、市税の口座振替、就学援助制度 など）

○ インターネット情報発信事業

<伊勢市ホームページ>

各所属からの情報を掲載するとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページになるよう努めた。

- ・公開ページ数：5,419件（令和4年3月31日時点）
- ・閲覧開始数（セッション数）：3,359,810件（令和3年4月1日～令和4年3月31日）
- ・広告件数：4事業所・44件・440,000円

<広報いせFacebook・Twitter>

即時性の高い市政情報などを効果的に発信する媒体として、平成29年1月4日か

ら「広報いせFacebook」「広報いせTwitter」を運用している。

(令和3年4月1日～令和4年3月31日期間中の投稿・閲覧状況)

- ・ 広報いせFacebook：投稿数（225件）、閲覧数（100,129件）
- ・ 広報いせTwitter：投稿数（223件）、閲覧数（303,254件）

○ 市民相談の実施

毎月、市役所内相談室において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、8月下旬～10月中旬・1月下旬～3月末は、オンラインでの相談を行った。ただし、9月21日の行政相談は中止となった。

また、二見生涯学習センター、小俣公民館において行政相談を実施した。ただし、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、8月24日・9月の各回・1月25日は中止となった。

相談名	実施日	相談担当者
法律	毎週月曜日 午後1時30分～3時30分(先着8人)	弁護士 5人
行政	毎月第2火曜日 午後1時～ (二見生涯学習センター) ※9月は中止 毎月第3火曜日 午後1時～ (広報広聴課相談室) ※9月は中止 毎月第4火曜日 午後1時～ (小俣公民館) ※8・9・1月は中止	行政相談委員 5人
人権	毎月第2木曜日 午後1時～	人権擁護委員 17人
登記	毎月第2火曜日 午後1時～(先着6人)	県司法書士会伊勢支部会員 12人
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～(先着4人)	NPO法人交通事故被害者支援センター相談員 1人
公証	毎月第1木曜日 午後1時～	公証人 1人

項目	区分							計
	法律相談	行政相談	人権相談	登記相談	交通事故相談	公証相談		
登記	22件	0件	0件	34件	0件	1件	57件	
家庭	66	0	0	0	0	1	67	
相続	110	0	0	13	0	8	131	
金銭	83	0	0	1	0	1	85	
土地	72	0	0	10	0	2	84	
福祉	6	0	0	0	0	0	6	
交通事故	9	0	0	0	16	0	25	
その他	102	0	0	4	0	2	108	
計	470	0	0	62	16	15	563	

○ 報道機関への情報提供

9月を除いた各月に市長定例記者会見を開催したとともに、各課から随時の資料提供により市の施策や事業、イベントなどの情報発信を報道機関（伊勢記者会）に対して、積極的に行い、広報活動の充実に努めた。

○ 市政への提案箱システム

開かれた市政を推進し、市民と行政の協働関係を築くため、市政への提案箱システムを活用し、ホームページからの投稿及び紙での提案箱投稿の意見を集約・分類した。

（市政への提案箱設置場所）

本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、福祉健康センター

担当部局	件数	受付方法	
		市政への提案箱(窓口)	ホームページ「市政への提案箱」
	件	件	件
総務部	21	8	13
危機管理部	12	2	10
情報戦略局	16	8	8
資産経営部	6	5	1
環境生活部	35	22	13
健康福祉部	46	19	27
産業観光部	11	7	4
国体推進局	2	1	1
都市整備部	47	18	29
検査室	0	0	0
会計課	0	0	0
二見総合支所	1	0	1
小俣総合支所	0	0	0
御菌総合支所	0	0	0
上下水道部	3	1	2
教育委員会	39	19	20
議会事務局	4	1	3
選挙管理委員会事務局	5	2	3
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0
伊勢総合病院	2	0	2
消防本部	7	1	6
計	257	114	143
回答不要(参考意見)	29	5	24
対象外	28	23	5

文 化 政 策 課

○ 文化振興関係

1 文化振興事業

(1) 2021 ISE COLLECTION (いせ・これくしょん) の開催

市民が文化芸術に親しむとともに、日頃の文化芸術活動の成果を発表する場として、“鑑賞・体験・披露”をキーワードに年間を通じて様々なイベント等を開催している。また、ISE COLLECTIONを通して、複数のイベントを一体的に情報発信し、より効果的に文化芸術の振興を図っている。

ア 伊勢市芸術祭

①市民芸能祭の開催

文化芸術（舞台芸能）の振興を図るため、第64回伊勢市民芸能祭を次のとおり開催した。なお、開催業務は、伊勢市文化協会へ委託している。

部 門	開 催 日	開 催 場 所	出演団体数	出演者数	観覧者数
合唱	3. 11. 14	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 (観光文化会館)	団体	人	人
器楽			6	138	209
邦楽			5	43	124
洋舞①	3. 11. 21		11	287	843
邦舞	3. 11. 23		10	74	440
能楽			1	30	69
吟詠剣詩舞	3. 12. 5	5	69	} 140	
舞台芸能		1	3		
洋舞②		8	198	1077	
計	—	—	52	882	3,004

②カルチャーフェスティバルの開催

③民謡踊り大会の開催

④市民交流茶会の開催

以上の行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

⑤伊勢市美術展覧会の開催

伊勢市及び近隣市町の文化芸術（美術分野）の振興を図るため、第67回伊勢市美術展覧会をシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢で開催した。新型コロナウイルス感染症対策として、会期を2回に分けて開催した。

なお、美術展覧会の開催業務は、観光文化会館の指定管理者へ委託している。

- ・部 門 5部門 平面造形（絵画等）、立体造形・工芸（彫刻・陶芸等）、写真、書、グラフィックデザイン

- ・開 催 日 第1期 令和3年10月24日～10月27日（4日間）

第2期 令和3年10月31日～11月3日（4日間）

午前9時～午後5時

※10月26日、11月2日は午後7時まで、10月27日、11月3日は午後3時30分まで

- ・出品点数 237点
- ・表彰 市長賞、市議会議長賞、教育長賞、神宮司庁賞、岡田文化財団賞、ケイミックスパブリックビジネス賞、奨励賞を贈呈した。
- ・観覧者数 1,050人
- ・運営委員会

(ア) 概要

	開催日	協議内容等
第1回運営委員会	3. 6. 3	・役員選任について ・第67回伊勢市美術展覧会開催について ・第67回伊勢市美術展覧会の開催要項及び募集要項について ・審査委員の選定方法について ほか
第2回運営委員会	3.12. 3	・第67回伊勢市美術展覧会の開催結果の報告 ・第68回伊勢市美術展覧会の開催について ほか

(イ) 委員数 8人（任期2年）

イ 次世代のための文化芸術推進事業

①文化芸術体験講座の開催

子どもたちに芸術・文化活動の楽しさや素晴らしさを知る機会を提供することで、豊かな心と感性を育み、次世代に文化を継承するための体験講座を開催した。この講座は、市内の文化団体が各小中学校へ出向く、出前講座方式で行っている。

- ・開催期間 令和3年10月12日～令和4年1月18日
- ・講座内容 箏、ダンス、バレエ
- ・参加者数 8校 335人

②世界に発信！伊勢市短詩型文学祭の開催

日本の伝統的な文芸の形式である短歌・俳句を用い表現することで、未来を担う子供たちが日本の伝統的な短詩型文学に触れ、同時に市の魅力を世界に発信することを目的に、小・中学生を対象に短歌・俳句の作品募集を行い、表彰及び展示を行った。

また、最優秀作品については、海外からの観光客に伊勢の観光スポットなどを知ってもらえるように英訳したポスターを作成し、公共施設等に掲示するとともに、市ホームページ及び伊勢市観光協会ホームページに掲載し、情報発信した。

- ・募集期間 web受付分 令和3年7月1日～9月3日
学校提出分 令和3年7月1日～9月10日

- ・応募作品 1,914点（短歌 433点、俳句 1,481点）
- ・応募者数 1,178人（小学生 724人、中学生 454人）
- ・表彰式 令和3年12月11日 伊勢市労働福祉会館2階大会議室
- ・作品展示

展示場所	展示期間
伊勢図書館 2階ロビー	3.12. 3～ 3.12.23
ミタス伊勢 中央通路	4. 3. 8～ 4. 3.17

③「楽しくいせの文化と歴史を学ぼう！」（夏休み博物館イベント）の実施

子どもたちが博物館を訪れ、地域の文化や歴史を学ぶ機会として、文化施設の指定管理者等と連携した事業を次のとおり実施した。

実施施設	開催日	実施内容	参加者数
賓日館	3. 7.22～ 3. 8.23	夏休み企画 「そこに、西行がいた!!2021」	人 1,042
山田奉行所記念館	3. 8. 1～ 3. 8.23	「特別展示会」	192
	3. 8. 8	「キッズフェア」	18
尾崎罌堂記念館	3. 8. 7	子ども罌堂講座 「罌堂 この人を知ろう」	14
伊勢河崎商人館	3. 8.21	「昔の商人の道具を使ってみよう」	中止

ウ 文化公演事業

①芸協らくご・伊勢おかげ寄席の開催

平成31年1月21日に（公社）落語芸術協会と締結した「伊勢市における文化芸術鑑賞機会の拡大に関する協定書」に基づき寄席公演を開催した。

- ・開催日時 令和3年11月17日
開演 午後6時30分 終演 午後8時45分
- ・出演者 春風亭昇太さん、春風亭柳橋さん、神田阿久鯉さん ほか
- ・開催場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（観光文化会館）大ホール
- ・観覧者数 315人（※）

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため間隔を空けた配席とした。

- ・観覧料 前売2,700円 当日3,000円

②伊勢市民オペラプロジェクト「ヘンゼルとグレーテル」の開催

観光文化会館開館50周年を記念し、演劇を通じた伊勢地域の実演芸術振興を目的に、「令和伊勢音楽作戦会議」実行委員会、観光文化会館指定管理者との共同主催による市民参加型オペラ公演を開催した。

- ・開催日時 令和3年12月25日 開演 午後6時 終演 午後8時20分
令和3年12月26日 開演 午後2時 終演 午後4時20分
- ・出演者 加藤愛さん、廣めぐみさん、野中正紀さん ほか
- ・開催場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（観光文化会館）
- ・観覧者数 1,205名
- ・観覧料 前売 一般3,000円、友の会2,800円、高校生以下2,000円
当日 一般3,500円、友の会2,800円、高校生以下2,500円
- ・助成 (公財)岡田文化財団、(公財)三重県文化振興事業団
(一財)自治総合センター
- ・関連事業 関連事業として、令和3年11月19日に本公演音楽監督の笠井幹夫さんによるオペラ講座を開催した。
- ・その他 本公演開催にあたり、「IMT伊勢音楽劇場」、「伊勢管弦楽団」、市内バレエ団体など地元の文化芸術団体で実行委員会を結成した。
また、出演者の一部及び劇中の子ども合唱団の配役にあたっては、一般公募を行った。

③宝くじふるさとワクワク劇場in伊勢の開催

観光文化会館開館50周年を記念し、(一財)自治総合センターとの共催により開催した。

- ・開催日時 令和4年3月21日 開演 午後2時 終演 午後4時15分
- ・公演内容 第1部 お笑いオンステージ
第2部 ほのぼのコメディ劇場
- ・出演者 第1部 林家三平さん、ザ・ぼんちさん、
テンダラーさん、U字工事さん
第2部 吉本新喜劇メンバー
司会 ルート33さん
- ・開催場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（観光文化会館）
- ・観覧者数 468人
- ・観覧料 前売2,000円 当日2,500円
※宝くじの助成による特別料金
- ・その他 本公演は令和3年9月4日の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、振替公演を開催することとした。

エ 連携事業

①市民ふれあいスポカルウォークの開催

スポーツと文化（カルチャー）を合わせたウォーキングを開催し、地域に残る文化資産等を巡った。この事業は、スポーツ課と連携して実施している。

開催日	内容		参加者数
3. 5. 16	第1回	「磯の渡しを偲ぶ」 (丁塚古墳・磯神社・磯の渡し)	中止
3. 6. 13	第2回	「菖蒲を愛でる」 (賓日館・太江寺・蘇民の社)	中止
3. 9. 12	第3回	「五十鈴川下流探訪」 (南山古墳・朝熊神社・鏡宮神社)	中止
3. 11. 14	第4回	「紅葉の高麗広」 (自然豊かな高麗広の風景)	人 149
4. 3. 6	第5回	「平家の里を訪ねて」 (おがたまの木・久昌寺)	中止

(2) 全国大会等参加激励事業

文化芸術分野の全国規模以上の大会に出場する者に激励金を交付した。また、庁舎に顕彰ポスターを掲出した。

大会名	交付人数	交付金額
第45回全国高等学校総合文化祭（将棋部門）	人 2	円 20,000
第68回全国高等学校ビジネス計算競技大会	2	20,000
第42回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会	1	10,000
第45回全国高等学校総合文化祭（将棋部門）	1	10,000
第42回全国中学生選抜将棋選手権大会	2	20,000
第33回全国高等学校情報処理競技大会	4	40,000
第45回全国高等学校総合文化祭（写真部門）	2	20,000
第45回全国高等学校総合文化祭（吟詠剣詩舞部門）	1	10,000
第74回全日本合唱コンクール全国大会	29	290,000
第72回日本学校農業クラブ全国大会 令和3年度兵庫大会 (プロジェクト発表会)	1	10,000
第72回日本学校農業クラブ全国大会 令和3年度兵庫大会 (意見発表会)	1	10,000
全国高校生介護福祉研究発表会	1	10,000
大山名人杯争奪 第20回全国小学生倉敷王将戦	2	20,000
第30回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	3	30,000
公文杯第47回小学生将棋名人戦 東日本大会	2	20,000
第11回科学の甲子園全国大会	8	80,000
計	62	620,000

(3) 「伊勢ぶんかネット」の配信

伊勢市を拠点に活動する文化団体をサポートするため、国や県等の公的機関による助成事業や登録団体が主催するイベント等の情報をEメールやファックスを利用して、毎月1回配信した。また、市の後援事業等の情報を市ホームページにより周知した。

- ・登録団体数 136 団体（令和4年3月31日時点）
- ・配信回数 13 回（令和4年3月31日時点）

2 全市博物館構想事業

平成20年に策定した「伊勢市全市博物館構想」は、市域を屋根のない巨大な博物館と捉えて博物館や文化資産を収蔵品とみなし、一体のものとして有効活用を図ることを目的としている。

（1）伊勢まるごと博物館マップの作成・配布等

博物館を紹介するとともに、点在する文化資産を記したマップを作成し、各博物館や観光案内所等で配布した。また、「博物館スタンプラリー」を実施し、3か所以上の施設を巡った人には記念品を贈呈した。

（2）情報発信

博物館14館の企画展示や催し物情報、臨時休館日や季節に応じた見どころ等を月単位でまとめ、「今月の伊勢まるごと博物館」として市ホームページで紹介した。

3 文化財保護事業

（1）指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金

伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、保存継承団体が行う後継者育成事業、備品整備事業、記録作成事業、普及宣伝事業、保存維持事業に対して補助を行っている。令和3年度はコロナ禍もあり行事の中止が多かったことから、23団体中9団体へ補助金を交付した。

（2）文化財保護審議会

文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議する機関として設置しており、令和3年度は会議を2回開催した。

〔委員数〕 9人（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

〔概要〕

開催日	内 容	
3. 10. 27	第1回	文化財指定・登録候補物件等現地調査 協議事項 ・市文化財保護条例と市指定文化財指定の目安について ・文化財指定について
4. 3. 28	第2回	報告事項 ・文化財関係補助事業について ・文化財案内板の設置・修繕・英訳について 協議事項 ・文化財指定について

（3）文化財の指定等

市にとって重要な文化財を指定し、将来の文化的発展の基礎をなすものとして保護する。令和3年度は、市指定文化財の指定1件を行った。また、国登録有形文化財に2件が登録された。

種 別		名 称	所有者等	指定・登録年月日
市	有形文化財 (古文書)	掃守某畠地売券	皇學館大学	3.11.29指定
国	登録有形文化財 (建造物)	星出館主屋	個人	3.10.14登録
国	登録有形文化財 (建造物)	星出館塀	個人	3.10.14登録

(4) 文化財保存整備事業

指定文化財等の適正な保存管理を図るため、下記事業に対して補助金を交付した。

ア 国史跡離宮院跡環境整備事業

- ・名 称 離宮院跡
- ・種 別 国指定史跡
- ・所 在 地 伊勢市小俣町本町
- ・所有者(補助事業者) 官舎神社氏子総代会
- ・実施期間 令和3年4月28日～令和3年10月23日
- ・事業内容 残存する土塁など遺跡のある環境を整備した。
- ・事業費 367,330円(市補助155,000円、所有者212,330円)

イ 史 旧林崎文庫 史跡等総合活用整備事業

- ・名 称 旧林崎文庫
- ・種 別 国指定史跡
- ・所 在 地 伊勢市宇治今在家町
- ・所有者(補助事業者) 宗教法人 神宮
- ・実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日
- ・事業内容 講堂、書庫等の改修工事と耐震補強工事を実施した。
- ・事業費 65,577,000円
(市補助13,115,000円、国補助39,346,000円、所有者13,116,000円)

ウ 国登 麻吉旅館聚遠楼ほか2件美観向上整備事業

- ・名 称 麻吉旅館本館、前蔵
- ・種 別 国登録有形文化財建造物
- ・所 在 地 伊勢市中之町
- ・所有者(補助事業者) 有限会社 麻吉
- ・実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月29日
- ・事業内容 本館や前蔵の屋根瓦に破損やずれが、前蔵の外壁のプリント鋼板に劣化が見られる。これらの修理事業を実施した。
- ・事業費 10,169,632円
(市補助2,288,000円、国補助5,592,000円、所有者2,289,632円)

エ 重無民 御頭神事 民俗文化財伝承・活用等事業

- ・名 称 御頭神事
- ・種 別 国重要無形民俗文化財
- ・所 在 地 伊勢市御菌町高向
- ・所有者（補助事業者） 高向区
- ・実施期間 令和3年4月1日～令和4年3月25日
- ・事業内容 神事で使用する御頭等の用具類の修繕・新調を行った。
- ・事業費 3,442,170円（市補助688,000円、国補助1,721,000円、県補助344,000円、所有者689,170円）

(5) 二見浦保存管理計画運営事業

平成18年7月28日に国名勝に指定された「二見浦」について、平成21年度に策定した名勝二見浦保存管理計画に基づき、適切な名勝の整備、活用及び運営を行うものである。令和3年度は、名勝指定地内における現状変更等の取扱いを調査審議するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会を2回開催した。

[委員数] 5人（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

[概要]

開催日	内 容	
3.10.21	第1回	審議事項 ・国名勝二見浦サイン計画の策定について ・二見興玉神社の現状変更について 報告事項 ・現状変更案件の経過について
4.3.23	第2回	審議事項 ・国名勝二見浦サイン計画の策定について ・二見興玉神社の現状変更について 報告事項 ・現状変更案件の経過について

(6) 旧豊宮崎文庫整備活用事業

大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」の活用と整備に向けた取組を行った。また、史跡内の桜の開花時期に合わせて、令和4年3月26日から4月6日に一般公開を行った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
岡本3丁目地内	(注) 旧豊宮崎文庫現況 測量業務委託	地形測量一式	円 1,188,000	3.12.17	4.3.11

(注) 維持課施行

イ 普及関係

旧豊宮崎文庫と市天然記念物オヤネザクラの概要と文化財保護の大切さを知ってもらうために史跡見学会を開催した。

開催日	講師	開催場所	開催時間	参加者数
4. 3. 26	樹木医 中村昌幸 氏	旧豊宮崎文庫	10:00 ~ 12:00	人 10
	職員	旧豊宮崎文庫	9:00 ~ 12:00	
4. 3. 27	職員	旧豊宮崎文庫	9:00 ~ 12:00	56

(7) 文化財案内板設置事業

市内の指定文化財や史跡等を周知するため、文化財案内板を設置している。令和3年度は、新たに4基を設置し、既設の1基を建て替えた。

また、外国人観光客に対応するため、既設4基の解説文を英語に訳し、読み取りQRコードステッカーを貼付した。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
伊勢市中島 1丁目地内 ほか	(注) 史跡等案内板石標 柱設置工事	案内板3基 石標柱1基	円 2,915,000	3. 10. 1	4. 1. 6
伊勢市二見 町茶屋地内	「万代不易之碑」 説明板修復業務	案内板修繕	93,500	4. 2. 16	4. 2. 25

(注) 農林水産課施行

(8) 賓日館保存事業

賓日館は市が所管する文化財（国の重要文化財）であり、適切に保存していくための取組を行った。

ア 基本設計作成

令和元年度・2年度に耐震診断・補強案策定業務委託を行い、耐震診断を実施し、補強案を策定した。令和3年度には、今後建物を適切に保存整備するために策定した補強案を基本として、保存修理及び耐震補強工事に関する基本設計を作成した。

- ・実施期間 令和3年8月27日～令和4年3月25日
- ・事業内容 現地調査、基本設計図等資料作成、概算工事費用等算出等

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町茶屋 地内	重要文化財旧賓日 館本館ほか2棟保存 整備事業基本設計 業務委託	基本設計業務一式	円 9,790,000	3. 8. 27	4. 3. 25

ウ 工事関係

建物等の維持管理のために修繕工事等を施行した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋 地内	旧賓日館屋根修繕 工事	1階ことぶきの間東 面庇と2階中庭通路 南面屋根の瓦補修 と補強	円 1,277,100	4. 1. 14	4. 2. 25

4 郷土資料収蔵施設管理運営事業

郷土資料館は、建物の耐震強度不足と老朽化のため平成22年度末に閉館し、平成23年度に解体された。現在は郷土資料収蔵施設として松下倉庫と、平成29年度から旧沼木中学校校舎を活用し、より良い資料保存環境づくりに努めている。また、外部への郷土資料の貸出しも行っている。

5 企画展開催事業

現在、市で保管している資料の一部は小俣総合支所1階に設けた「郷土資料コーナー」で展示を行っている。また、伊勢古市参宮街道資料館・伊勢図書館・シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（観光文化会館）において企画展と講演会を開催した。

ア 企画展

企画展名	開催場所	開催期間	入場者数
第18回企画展 土器大解剖展3「はじまりの陶器須恵器」	郷土資料コーナー	3. 4. 5 ~ 4. 3. 31	—
御師制度廃止150年記念 伊勢の御師フォーラム2021 文化のるつぼ ISE — 御師の絵画 —	伊勢古市参宮街道資料館	3. 7. 6 ~ 3. 8. 1	人 239
竹内浩三生誕100年記念展示「竹内浩三の軌跡」～芸術に生き、芸術に生かされた郷土の詩人～	伊勢図書館 2階視聴覚室	3. 11. 20 ~ 3. 11. 28	—
旧市川造船所資料展 日本近代造船史に輝く大湊の造船	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（観光文化会館） 2階 展示室	4. 2. 23 ~ 4. 2. 27	146

イ 講演会

講演会名	講師	開催場所	開催日	入場者数
「文化人御師の実像」	豆腐庵山中 代表取締役 山中一孝 氏	伊勢古市参宮街道資料館	3. 7. 25	人 20
「竹内浩三と音楽詩」	竹内浩三研究会事務局長 奥村薫 氏 皇學館大学文学部国文学科 3回生 高原由妃 氏	伊勢図書館 2階視聴覚室	3. 11. 20	20
			3. 11. 27	20

6 古市資料館管理運営事業

古市参宮街道ゆかりの資料（妓楼・古市歌舞伎・岩城万金丹・画僧月僊関係等）を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 伊勢古市参宮街道資料館運営委員会
- ・指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

（1）企画展の実施

企画展名	開催期間	入館者数
御師・神職による書画展	3. 4. 6 ~ 3. 5. 9	384人
伊勢のシネマ	3. 10. 5 ~ 3. 10. 24	431人

(2) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 25	26	26	26	20	0	27	23	24	24	22	27	270
入館 者数	人 287	193	150	237	88	0	499	218	201	271	159	247	2,550

(3) 2階研修室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 44	29	37	43	21	0	44	40	38	33	18	38	385
利用 者数	人 354	234	345	370	164	0	359	319	295	249	99	332	3,120

7 伊勢河崎商人館管理運営事業

江戸時代に「伊勢の台所」として栄えた河崎の代表的な商家を資料館として活用し、当時の暮らしを支えた商業や生活に関する資料を展示公開している。

なお、施設建造物のうち12件は、平成13年に国の登録有形文化財に登録されている。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆
- ・指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

(1) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 26	27	25	27	20	0	27	25	25	25	24	26	277
入館 者数	人 263	245	210	316	270	0	532	748	581	510	255	340	4,270

(2) 貸室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 9	4	6	9	8	0	10	18	11	3	0	6	84
利用 者数	人 81	34	66	91	80	0	85	122	84	23	0	57	723

(3) 工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
河崎2丁目 地内	伊勢河崎商人館茶 室建具ほか修繕工 事	茶室建具ほか修繕一式	円 124,300	3.11.15	3.11.18

8 尾崎罌堂記念館管理運営事業

我が国の憲政史上に不滅の功績を残し、世界平和の取組に尽力した尾崎罌堂に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成22年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人罌堂香風
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）

(1) 企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
大瀬東作と尾崎行雄～時代を動かした郷土の偉人～	3. 8. 1～ 3. 8. 24	人 163
尾崎の遺した屏風	4. 3. 1～ 4. 3. 31	54

(2) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	26	26	26	27	20	0	27	25	24	23	24	27	275
入館 者数	277	21	17	44	164	0	12	44	31	13	25	54	702

(3) 2階会議室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	35	41	43	46	31	0	41	53	45	33	20	41	429
利用 者数	442	681	612	676	367	0	664	730	619	359	116	621	5,887

9 山田奉行所記念館管理運営事業

江戸幕府が主要都市に設置した遠国奉行を今に伝える数少ない資料館として、山田奉行所に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成27年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 山田奉行所記念館友の会
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）

(1) 企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
「御師と山田奉行」	3. 7. 1～ 3. 7. 31	219人
「御師入門」	3. 8. 1～ 3. 8. 23	192
「キッズフェア」	3. 8. 8	18

(2) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 26	27	25	27	20	0	27	25	24	24	24	26	275
入館 者数	人 114	90	91	219	192	0	165	165	90	76	86	133	1,421

(3) 貸室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 2	2	2	7	3	0	7	6	2	2	3	3	39
利用 者数	人 6	6	6	28	15	0	22	28	6	7	10	11	145

10 観光文化会館施設管理運営・補修事業

市民の様々な文化活動を支援するための施設として、ホールや会議室等の貸館のほか、質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供等の取組を行った。

平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

【指定管理者】

- ・管理者名 株式会社 ケイミックスパブリックビジネス
- ・指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

(1) 自主事業

観光文化会館の設置目的を達成するため指定管理者自ら企画実施する自主事業（鑑賞型や参加型の公演事業）を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあった。

区分	主な事業名	計画件数	実施件数	入場者数
鑑賞型事業	MIKA NAKASHIMA CONCERT TOUR 2021 JOKER	件 12	件 6	人 2,668
普及型事業	かんぶん市民プロデューサー養成講座2021	16	10	856
参加型事業	かんぶん誕生50周年動画をつくろう！	10	7	299
計		38	23	3,823

(2) 委託工事関係

会館の安全な運営のため、耐用年数を迎える諸設備の改修工事や委託等を施行した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着工	完工
岩淵1丁目 地内	伊勢市観光文化会館電話交換設備取替等業務委託	電話交換設備の更新業務等一式	円 1,595,000	3.11.17	4.2.28

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岩 淵 1 丁 目 地 内	伊勢市観光文化会館 高圧受電設備改修工事	高圧受電設備改修工事一式	円 1,265,000	3. 7. 5	3. 9. 2

(3) ネーミングライツ

新たな財源を確保し、施設の運営及び維持管理等の財源に充てるため、ネーミングライツ制度を導入している。

- ・対象施設 観光文化会館
- ・愛 称 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
- ・命名権者 シンフォニアテクノロジー株式会社
- ・命名権料 年額500万円（税込み）
- ・契約期間 平成29年4月1日～令和9年3月31日（10年間）

11 新型コロナウイルス対策事業

(1) 感染防止対策事業

不特定多数が利用する文化施設において、新型コロナウイルス感染防止対策として次の環境整備を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岩 淵 1 丁 目 地 内	伊勢市観光文化会館 大ホール動画配信用 回線整備工事	館内情報配線工事一式	円 1,282,600	3. 7. 7	3. 9. 4

イ 備品関係

設置場所	品 名	金 額	購入年月日
シンフォニアテクノロジー 響ホール伊勢（観光文化会館）	サーキュレーター	円 93,500	3.12. 8
	加湿空気清浄機	231,000	4. 1.12
計	2件	324,500	—

(2) 指定管理運営維持負担金

新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入が減少した施設のうち、一定の条件に該当する施設の指定管理者に対して、減収分の一部を補填した。

施設名	指定管理者名	負担額
伊勢河崎商人館	特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆	円 648,532
シンフォニアテクノロジー 響ホール伊勢（観光文化会館）	株式会社 ケイミックスパブリックビジネス	5,940,938
計	2件	6,589,470